

行政のこれまでと
これからを伝える



福智町

行政報告会

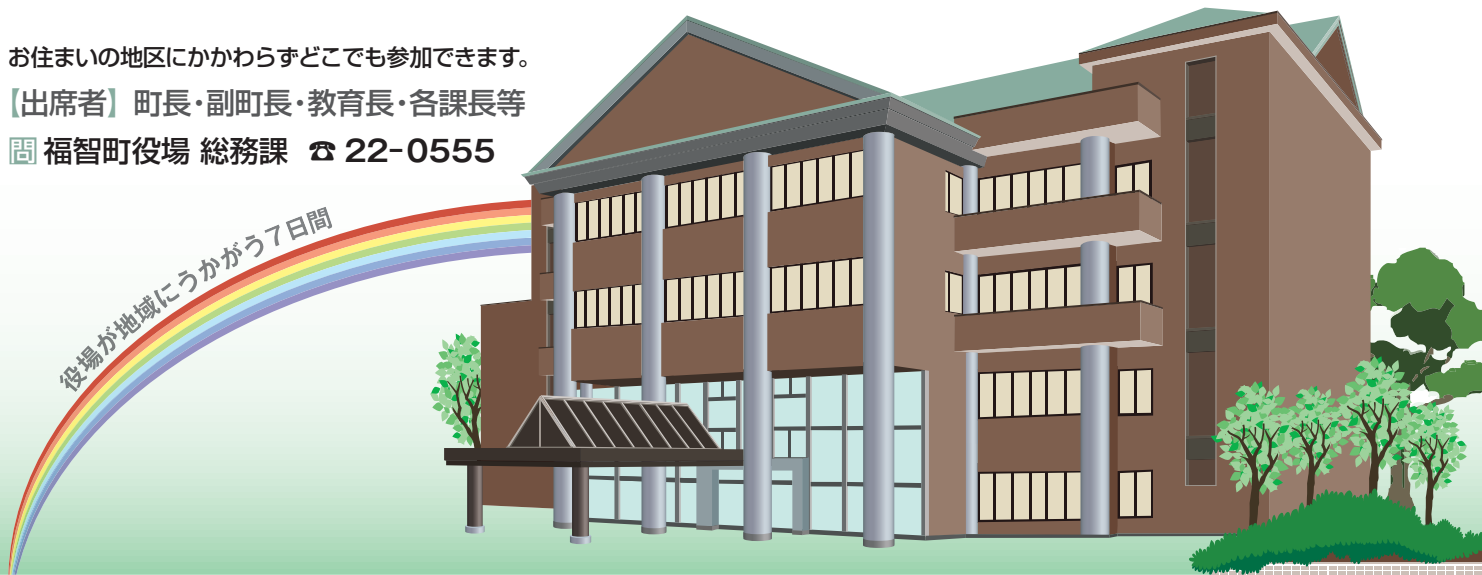
次の日程で町の取り組みをご報告します。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

日時	会場
1月17日 火 19:00～	公民館 方城分館 (伊方地区)
1月18日 水 19:00～	公民館 方城分館 (弁城地区)
1月24日 火 19:00～	公民館 金田分館 (金田地区)
1月25日 水 19:00～	公民館 金田分館 (神崎地区)
2月1日 水 19:00～	上野小学校 (上野地区)
2月2日 木 19:00～	同和対策研修センター (赤池地区)
2月3日 金 19:00～	同和対策研修センター (市場地区)

お住まいの地区にかかわらずどこでも参加できます。

【出席者】町長・副町長・教育長・各課長等

☎ 福智町役場 総務課 ☎ 22-0555



町長日誌

▼技術(技能)が向上したり、人間的にひと回り大きくなったと周囲が感じた時によく使用される表現に「ひと皮むける」ということがある。人は何枚の皮におおわれて生まれてくるのかわからないが、脱皮する回数が多ければ多いほど、自分自身と真摯に向き合っていると言えるのではないかな▼もちろん、人によって人生の長さには違いはあるものの、与えられた時間の中で、自己の持つ可能性を最大限に引き出し、伸ばしていくこうとする姿勢そのものが、この世に生をうけたことに対する最も誠実な対応だと考えるが、どうだろうか。確かに、一人ひとり人生観も異なり、各人各様の価値観に基づいて生を営んでいるわけだから、一概に決めつけることはできないのかも知れないが：▼とは言え、少なくとも人間関係においては「ひと皮もふた皮もむける」努力を惜しんではならないと思う。なぜなら、私たちは好むと好まざるにかかわらず、他者とのかわりを避けて生きていくことはできないのだから——▼いずれにしても、毎日をより良き日々にする(人生を潤いのあるものにする)ためには、意識的にそして継続して自らの変革を図ることが、絶対的な条件であると確信している。江戸時代前期の儒学者だった熊沢蕃山は「憂きことのなほの上に積もれかし、限りある身の力試さん」と歌っているが、わたしもこの心意気で精励し「ひと皮むけたね」と言われるようにしたいと思う。

浦田 弘二